

教科 地歴公民 科

科目	政治・経済	学年・コース	3 学年	コース	単位数	2 単位	区分	選択
学習の目標		社会の在り方について見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究する。						
教科書		『最新政治・経済 新訂版』(実教出版)						
補助教材等		自主制作プリント など						
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間
1 学期	4	第2編 現代の経済 2章現代の日本経済と福祉の向上 労働問題と労働者の権利			・少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会などにおける諸課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて考察する。			8
	5	2章現代の日本経済と福祉の向上 こんにちの労働問題・社会保障 公害防止と環境保全・消費者問題 1章現代の経済社会 経済主体と市場の働き			・日本の経済の現状に触れながら、経済活動と福祉の向上との関連について考察する。 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税の意義、金融の仕組みについて現実社会の諸事象を通して理解を深める。			8
	6	1章現代の経済社会 企業の役割・国民所得 経済成長と国民の福祉			・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多角的・多面的に理解・考察し、構想し表現する。			8
	7	1章現代の経済社会 金融の役割 財政の役割と租税・日本の財政の課題						8
2 学期	8	第1編 現代の政治 2章日本国憲法と基本的人権			・政治や法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。			2
	9	2章日本国憲法と基本的人権 3章 日本の経済制度と政治参加 政治機構と国会			・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多角的・多面的に理解する。			8
	10	3章 日本の経済制度と政治参加 内閣と行政機能の拡大 公正な裁判の保障 地方自治と住民福祉			・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を行う。			8
	11	3章 日本の経済制度と政治参加 政党政治 選挙制度 世論と政治参加			・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多角的・多面的に考察する。			8
	12	第1編 現代の政治 4章現代の国際政治 5章日本の平和主義と国際平和			・現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察する。 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成を考える。			8
3 学期	1	第2編 現代の経済 3章現代の国際経済			・国際社会の変遷、人権、国家権力、領土(領海、領空を含む。)などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について理解を深める。			7
					・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解を深める。 ・国際政治及び国際経済の現状に触れ、持続可能な国際社会づくりなどについて考える。			5

評価の観点	知識・技能	現実社会の諸現象について理解を深め、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができるか。
	思考・判断・表現	現実社会の諸事象について説明したりそれを基に議論したりできるか。
	主体的に学習に取り組む態度	現実社会の諸課題の解決に向けて主体的に構想することができるか。